

秋田県農業集落排水連絡協議会

第19回通常総会を開催

8月2日、本会第1会議室で、「秋田県農業集落排水連絡協議会第19回通常総会」が19会員（会員総数21団体、うち委任状2）の出席のもと開催されました。

総会は、栗林会長（大仙市長）を議長に、平成21年度事業報告、収入支出決算について、平成22年度事業計画（案）、分担金算出方法及び徴収の方法（案）、収入支出予算（案）について審議され、満場一致で原案のとおり決定されました。



また、役員改選が行われ、会長には5年間務められた栗林大仙市長に替わり、長谷部由利本荘市長が選任されました。栗林前会長には償還助成の復活等、任期中3回の要請活動と、協議会の円滑な運営にご尽力頂きました。

総会終了後、県建設交通部下水道課の小野課長から、「あきた循環のみず推進事業」について、県農林水産部農山村振興課の保坂課長から「“韓流ドラマ”を事例とした広報戦略について」と題して講演がありました。

講演終了後には、「平成23年度の農業集落排水事業予算の確保」について、秋田県の佐竹知事、堀井副知事、中野副知事を始め、総務部長、建設交通部長、農林水産部長、秋田県議会議長に対して要請活動を行いました。要請には、長谷部会長（由利本荘市長）、栗林理事（大仙市長）、加藤理事（八峰町長）、三浦監事（三種町長）、理事代理として小野横手市副市長、丸屋大館市建設部長、雲雀仙北市建設部長、堀部北秋田市上下水道課長が参加し、水土里ネット秋田からは黒子専務が同行しました。

要 請 書

農業集落排水事業の推進につきましては、日頃から格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。おかげ様で、県の支援のもと「秋田県生活排水処理整備構想」に基づき、これまで22市町村200地区で農業集落排水施設を整備しており、農業用水はもとより公共用水域の水質保全や改良に寄与するとともに、農山村地域の生活環境改善にも大きく貢献しております。

しかし、本県の農山村地域における生活排水処理の整備は今後これまで以上に中山間地域等条件不利地域の整備や既存施設の更新、機能強化等が大きな課題として残されており、引続き農業集落排水事業を計画的に実施していく必要があります。

折しも国では本年3月末、新たな食料・農業・農村基本計画を閣議決定し、「食」と「地域」の再生に向けて、食料・農業・農村政策を国家戦略として位置付け、国民全体で食料・農業・農村を支える社会を目指していくことを表明しました。一方で、国の平成22年度農業農村整備事業予算は、対前年比で約1/3に大幅な削減となったほか、農業集落排水事業は、平成22年度に新たに創設された農山漁村地域整備交付金に移行しましたが、この交付金を考慮しても予算規模は、平成21年度比で1/2程度となっております。

つきましては、これらの実情をご賢察のうえ、農業集落排水事業の平成23年度予算枠の確保について、秋田県としても国に強く要望して下さるよう特段のご配慮をお願い申し上げます。



平成22年度 **秋田県農村総合整備センター**
運営委員会開催される

8月9日(月)、秋田県農村総合整備センターの平成22年度第1回運営委員会が開催されました。

委員会は、始めに三澤土地連副会長を運営委員長に選任し、その後、三澤新委員長が議長となり議事が進行され、H22年度事業計画及び収支予算などの提出議案が承認されました。

同センターが実施する「農村振興総合整備推進事業」の事業主体は、昨年度と同様、東北農政局管内の「公募」となり、7月7日に応募の後、7月22日に土地連が選定され、補助金交付決定通知は9月8日となりました。

本年度の事業計画は、この「公募内容」に沿ったもので、「啓発・普及」、「技術力向上対策」、「技術指導」、「調査研究」の4項目について計画されています。この内「調査研究」は、農業集落排水の課題調査に加え、これまで農村総合整備事業で実施した農村公園の施設が、造成後の経過年数や維持管理状態により施設の健全度の差

が生じているものと予想されることから、維持管理状況等についてのアンケート調査を行い、



その結果を分析し、維持管理に関する方向性の検討を行うこととしています。今年の種苗交換会は北秋田市で開催されますが、公募で提案した農業集落排水の役割についての「啓発・普及」の一環として、県と土地連が共同出展する「農業農村整備フェア」の会場に農業集落排水の模型や事業パネルを展示し、来場者に分かりやすく説明する予定です。種苗交換会にお越しの際はぜひ「農業農村整備フェア」に足を運んで下さるようお願い致します。

〔秋田県農村総合整備センター運営委員〕◇
 運営委員長：三澤敏行（土地連副会長）◇運営委員：保坂龍弥（県農山村振興課長）、高野尚紀（県農山村振興課地域環境保全班長）、猿田明善（県建設交通部下水道課環境保全班長）、津谷永光（北秋田市長）、五十嵐忠悦（横手市長）、黒子高夫（土地連専務理事）、藤原正（土地連技監）

連 合 会 日 誌

7月27日	全国農業集落排水事業推進協議会第21回通常総会	東京都
7月27日	「食料基地あきた農業農村整備基本計画《NN基本計画》にかかる意見交換会」	北秋田市
8月5日	用排水施設整備事業促進東北協議会平成22年度定期総会並びに研修会(～6日)	秋田市
8月19日	正副会長会議	本会「役員室」
8月31日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東京都
9月2日	平成22年度東北農地・水・環境保全向上対策連絡会議(～3日)	八戸市
9月14日	農地・水・環境保全向上対策第三者検討委員会	横手市
9月16日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会第2回事務責任者会議(～17日)	北海道
10月7日	東北農業農村整備推進協議会平成22年度担当者研修会	仙台市
10月22日	県営老朽ため池等整備事業土手ヶ沢地区竣工式	羽後町
10月22日	小種地区経営体育成基盤整備事業竣工式	大仙市
..... 今後の行事予定		
10月28日	平成22年度東北・北海道ブロック管理主任者会議並びに土地改良施設管理円滑化事業管理専門指導員会議(～29日)	秋田市
10月30日	第133回秋田県種苗交換会(～11/5)	北秋田市
11月19日	県営里見地区農地集積加速化基盤整備事業竣工式	横手市雄物川町



大館市土地改良区合併予備契約調印式

8月20日（金）大館市のホテルクラウンパレス秋北に於いて、大館市内の4土地改良区（大館市下川沿、大館市釈迦内、大館市花矢、大館市）が、大館市土地改良区の設立に向け、合併予備契約調印式が執り行われた。

平成19年12月に地域における土地と水の調整機能を十分に発揮できる組織体の実現を目指し、「長木川水系土地改良区統合整備研究会」を発足されて以来、賦課金の格差問題等、様々な課題があった。

しかし、統合整備による合理的で且つ財政的に安定した、土地改良区運営が必要であるとの強い認識から、それぞれの課題を克服のうえ、「大館市土地改良区統合整備協議会」での統合整備計画等の協議を重ねられた。

調印には、土地改良区役員や市・県の関係者を含めて約80人が出席し、統合整備推進協議会長を務める木村大館市産業部長より「厳しい農業情勢の中、土地改良区の運営基盤強化と経営合理化は不可欠であり、合併を機に農家のための組織として一層農業経営に貢献するよう願う」とあいさつ。4人の理事長と立会人の小畑大館市長が予備契約書に署名し押印した。各土地改良区は10月までに総代会での議決を経て来年1月上旬をめどに県に合併認可を申請する予定。



会員だより

新理事長就任のお知らせ

- 秋田県能代地区土地改良区（H22.8.5）
理事長 大塚和雄

事務所移転のお知らせ

- 鳥海町上川内堰土地改良区（H22.7.26）
【新所在地】〒015-0501
由利本荘市鳥海町伏見字赤渋28-1
由利本荘市役所鳥海総合支所2階
TEL.0184-57-2947 FAX.0184-57-2947
- 仙北市黒倉堰土地改良区（H22.8.19）
【新所在地】〒014-1114
仙北市田沢湖神代字古館野207-3
TEL.0187-44-3720 FAX.0187-44-3744
- 仙北市神代土地改良区（H22.8.19）
【新所在地】〒014-1114
仙北市田沢湖神代字古館野207-3
TEL.0187-44-3720 FAX.0187-44-3744

本会

監事会・理事会・役員会

8月27日、平成22年度第4回監事会・第2回理事会及び第2回役員会を開催。監事会では、平成22年度一般会計収支補正予算（案）が承認されました。その後に開催された理事会では、平成21年度事業報告・一般会計収支決算及び財産目録の案、平成22年度一般会計収支補正予算専決処分がそれぞれ承認されたほか、育児休業及び育児短時間勤務等に関する規程及び介護休業及び介護短時間勤務等に関する規程の一部改正が議決されました。

また、役員会においては、平成22年度秋田県土地改良事業功績者の選考及び平成23年度新規職員の採用について協議され承認されております。

インフォメーション

平成22年度

秋田県土地改良事業推進大会


— 農業農村整備事業の予算獲得に向けて —

日時 平成22年11月2日〔火〕 午後1時00分

場所 北秋田市合川体育館（北秋田市李岱下豊田25）

第133回秋田県種苗交換会

「農業農村整備フェア」を開催します!!



- 期間 平成22年10月30日(土)～11月5日(金) 9:00～16:00
- 場所 協賛第1会場(鷹巣体育館駐車場特設テント)
- 内容 各種パネル展示、体験コーナー、土地改良相談コーナー、カレンダー作成など
- 共催 東北農政局(西奥羽土地改良調査管理事務所・平鹿平野農業水利事業所)、秋田県(農地整備課・農山村振興課・北秋田域振興局農村整備課)、水土里ネット秋田

野山の花 ダリア(和名:デンジクボタン)



9月、色とりどりのダリアからお気に入りを見ました。
(写真提供/真坂千鶴子)

編集後記

◆「女心と秋の空」という言葉のように、この時季の天気は変わりやすいものです。昨日の秋晴れがうそのように、朝から雨が降ったかと思えば、太陽が顔を出したりと一日の中でも忙しく変わって行きます。しかし一雨ごとに寒さが増し、秋が深まって来ているのは確かです。秋は、食欲の秋、スポーツの秋とも云われます。プロバスケットボールbjリーグが開幕し、今シーズンから参入した本県初のプロチーム「秋田ノーザンハピネッツ」のデビュー戦が先日行われました。勝利に向けた熱きプレーを期待しながら「秋田県のプロチーム」を応援して行きたいと思います。(広報・渉外班◆嵯峨記)

表紙写真 美しく豊かな農村づくり写真コンクール入賞作品「自然乾燥でおいしい米づくり」

※本印刷用紙は、大昭和板紙秋田工場で生産された「地産地消製品」を使用しております。